

**取扱説明書**

- ◇ 本製品は、YAMAHA ルータ『RTX2000』の拡張スロットに装着して使用する拡張モジュールです。本モジュールは、8つの10BASE-Tまたは100BASE-TXのポート拡張を提供します。
- ◇ 本製品単体での使用や、『RTX2000』以外の装置に装着して使用することはできません。
- ◇ 本製品をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。具体的な設定についてはコマンドリファレンス及び設定例集を参照してください。
- ◇ 本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
- ◇ 本書はなくさないように、大切に保管してください。
- ◇ 本製品を譲渡する際は、本書も同時に譲渡してください。

**梱包品の確認****LAN モジュール [製品番号 YBB-8FE-TX]**

---

拡張モジュール	1 台
保証書	1 枚
取扱説明書 (本書)	1 部

# 安全にお使いいただくために



- ・ 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。部品が破損し、火災や感電、故障の原因となります。
- ・ 本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ・ RTX2000 本体の電源を入れたまま、本製品の取り付け作業を行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。



- ・ 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- ・ 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードを抜き、乾燥させるか、十分に室温に慣らしてから使用してください。
- ・ ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- ・ 本製品を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。お住まいの自治体の指示があればその指示に従ってください。

# 保守サービス

## ■ 保証期間

---

ご購入から1年間です。

## ■ 保証書について

---

保証書をお受取りの際は、お買い上げ年月日・販売店などを必ずご確認の上保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。

## ■ 保証期間中の修理

---

保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店または下記ヤマハルータお客様相談センターまでご連絡の上、製品をご送付ください。その際必ず保証書を同封してください。

## ■ 保証期間終了後の修理

---

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店または下記ヤマハルータお客様相談センターまでご連絡ください。ただし、修理対応期間は製造打ち切り後5年間です。

## ■ オンライン情報について

---

次のWWWサーバで提供しています。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

### ●ヤマハルータお客様相談センター

ヤマハ株式会社 IT 営業部

電子メール: [info@rtpro.yamaha.co.jp](mailto:info@rtpro.yamaha.co.jp)

TEL: 053-478-2806

FAX: 053-460-3489

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

# スペック

## イーサネットインタフェース仕様

---

イーサネット	10BASE-T / 100BASE-TX
プロトコル	IEEE802.3u
通信モード	オートネゴシエーション / 固定設定 (コマンドによる)
コネクタ	RJ-45
MAC アドレス	モジュールの金属カバー上のラベルに表示
極性	クロス接続

## 表示機能

---

LED による点滅	LINK/DATA、10/100M
-----------	-------------------

## 動作環境条件

---

周囲温度	0 ~ 40℃
周囲湿度	20 ~ 85% (結露しないこと)

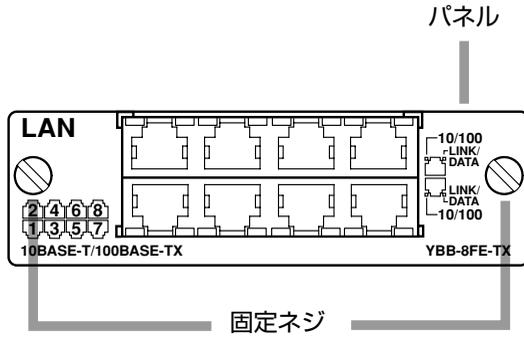
## 保管環境条件

---

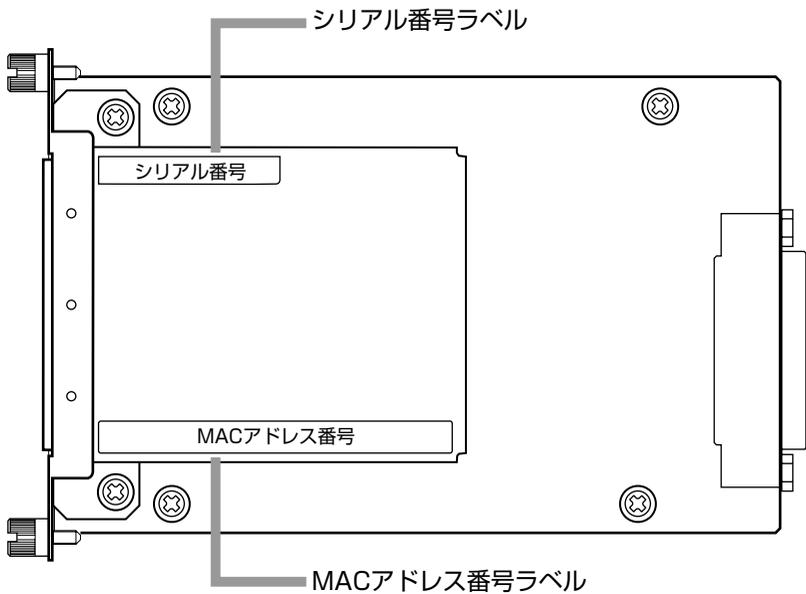
周囲温度	-20 ~ 50℃
周囲湿度	10 ~ 90% (結露しないこと)

# 各部の名称

正面図



上面からの図



# インストール

本製品のインストールは次の手順で行ってください。

1. RTX2000 本体の POWER スイッチを OFF にします。
2. RTX2000 本体のブランクカバーの固定ネジを緩め、取り外します。固定ネジが本体から外れるとバネにより少し飛び出します。それ以上緩める必要はありません。ブランクカバーは大切に保管してください。
3. LAN モジュールは正面のパネル部分を持つようにし、決して電子部品には触らないでください。必要であれば金属カバー上に記載された MAC アドレスをメモします。
4. LAN モジュールを取り付けます。拡張スロットの内側には、LAN モジュールの基板側面がはまる溝があることに注意してください。モジュールの基板の両側がこの溝にはまるようにしてゆっくりとネジの下あたりを両指で押し、モジュールを押し込みます。その後、パネルが RTX2000 本体のフロントパネルと密着するまで 2 つの固定ネジを締めます。
5. RTX2000 の POWER スイッチを ON にします。
6. コンソールにアクセスし、**show environment** コマンドによる表示で次のように「slot: YBB-8FE-TX」で始まる行があると、LAN モジュールは正常に認識されています。

```
> show environment
RTX2000 Rev.7.00.01 (Thu Aug 29 09:56:30 2002)
  main: RTX2000 ver=a1 serial=NOM001001 MAC-Address=00:a0:de:07:f1:a8
  slot: YBB-8FE-TX ver=a1 serial=D08001001 MAC-Address=00:a0:de:07:f0:e0
  vpn: YBB-VPN-A ver=a1 serial=D09001001
CPU:  3%(5sec)  3%(1min)  0%(5min)  メモリ : 3% used
.....
```